



Vol. 436
2020年
11月号

ほほえみ



西村歯科

歯周病をほうっておくとボケる！？

最近ニュースでも取り上げられていましたが、九州大学などの研究チームが歯周病菌が脳に侵入することで認知症を悪化させる仕組みを解明しました。歯周病菌は毒素を放出し炎症を起こさせることから、様々な全身の病気と関係があり、認知症との関連も以前から研究がされてきました。

この研究により、歯周病菌の感染がアルツハイマー病の原因とされているタンパク質(アミロイドベータ)の脳内への蓄積を加速させるという事が明らかになりました。研究が進んだ事で更に認知症予防に対しての歯周病治療・予防の重要性が認識されていくでしょう。

やはり、口の健康は健康長寿への第一歩。日頃からのケアと定期検診でお口の健康を守っていきましょう。



院長 西村 誠



「メンテナンス」ってなあに??



子供の頃から歯医者さんが怖くてずっと行っていない、痛いのが苦手！…だから歯科医院へは歯が痛くなった時だけ行く、という方はきっと多いことでしょう。

確かに歯の治療時には水やエアアが出てきたり、キーン！と嫌な音が出たりとあまり良い印象はないかもしれませんが、歯科医院では痛い時だけではなく、痛くない時にも来院して頂く定期的なメンテナンスも行っています。メンテナンスの目的は虫歯や歯周病の予防、早期発見、進行の抑制などがあげられます。痛みが出てからでは進行していることが多く、定期的なメンテナンスで歯をチェックすることは必要です。「そうは言っても具体的にどんなことをするのか分からず不安…」という方のために、今回はメンテナンスではどのようなことをするのかご紹介します。

- 1 **お口の診査** 虫歯の有無や歯肉の炎症、粘膜や舌の診査、歯垢・歯石の沈着の状態などを診査します。歯周病の検査(歯周ポケットの深さ、出血の有無)も行います。
- 2 **レントゲン写真、口腔内写真の撮影** レントゲン写真では直接目で確認できないところの診査のため撮影します。歯と歯の間の虫歯や骨の状態をチェックします。
口腔内写真では、歯肉や粘膜、歯並びなど状態に変化がないかチェックします。
- 3 **歯垢の染め出し** 歯垢を染色液でピンクに染め出します。
歯垢の落としにくいところをチェックします。患者さんに合った歯みがき方法をご指導させていただきます。



4 歯垢・歯石の除去 専門的なクリーニングを行います。超音波の細かい振動を使って歯の周りを洗浄していきます。歯の表面も磨きます。

5 フッ素塗布 最後に高濃度のフッ素を塗布します。フッ素は虫歯予防に効果的です。



このような処置を、その時の患者さんのお口の状態、体調に応じて行っています。その他にもお口の乾燥、噛み合わせなど気になることへのご質問にもお答えさせていただきます。メンテナンスでは3~4ヶ月くらいの間隔が目安です。定期的なメンテナンスで大事な歯を守りましょう。

歯科衛生士 中川 絵美子



1 1月の休日 勤労感謝の日の由来って??

毎月の祝祭日、そもそもどういう由来で定められた日なんだろうと思ったことはありませんか？そこで今月の休日、勤労感謝の日について調べてみました。

勤労感謝の日は、もともと新嘗祭(にいなめさい)と呼ばれる皇室の行事を行う祭日だったそうです。そんな新嘗祭が勤労感謝の日になったのは、1948年のこと。第二次世界大戦後、GHQは宮中行事としての新嘗祭を残しつつ、国民の祝日から切り離す政策をとったため、宮中行事であった「新嘗祭」の日は、「勤労感謝の日」に装いを改めて国民の祝日になりました。

新嘗祭は、「新しい穀物を奉るお祭り」です。その年に収穫された新しい穀物を神様に捧げて、感謝するとともに、国家の安泰や国民の繁栄を祈るのが新嘗祭です。一方勤労感謝の日は、「勤労」に対する感謝をする日とされています。もともとの新嘗祭は穀物の実りを神に感謝するものでしたが、現在では「働く人」に対する感謝の日になっているということです。

ところで勤労感謝の日は、本来は祝日ではなく祭日でした。祝日と祭日は、一体どこが違うのでしょうか？そもそも、祭日というのは、その字の通り、神道のお祭りを行う日のことでした。一方、祝日というのは、法律で決められている「国民の祝日」のことです。もともとの祭日は、11月23日のほか、1月1日のお正月、2月11日の建国記念の日、春分の日、秋分の日、そのときの今上天皇の誕生日などが該当します。とはいえ、戦後、「祭日」という言葉は使われなくなり、「祝日」に統一されています。カレンダーや営業時間の案内などにも、「祝日」とあるはずですが。漠然と「祝祭日」といった言葉が使われることもあります。本来の由来を知ること、休日が「祝日」なのか「祭日」なのかを意識しやすくなりますね。

編集後記

今年は、誰もが予想しなかった形で働き方改革が大きく進んだ一年でした。テレワークや時差出勤をはじめ、多くの方が慣れない働き方の中で試行錯誤を繰り返しておられることと思います。「働く人」に対する感謝の日である「勤労感謝の日」。今年は苦しい中でも社会で、家庭で懸命に働いてくれている人たちに改めて感謝をし、そして自分自身にも「おつかれさま！」と言ってあげる日にしたいと思います。



「ほほえみ」バックナンバーは
ホームページにも掲載中です。
ぜひアクセスして下さい！
アドレス www.ndc1979.jp